

本日御議論いただきたい論点

○ 小学校 1、2 年生以降の他学年への導入について

- ・ 小学校 3、4 年における少人数教育の導入について

※第 1 回検討委員会より

- ・ 中学年において、大きな集団で切磋琢磨とか社会性や協調性を養うことは、自己実現していく子供たちへの手助けという点で教育効果はある。
- ・ 多様な価値観や様々な個性と触れ合っ、人間性を広げていく、社会性を身につけていくという点で、ある程度の人数が必要。
- ・ G I G A スクール構想、外国語教育や、教科担任制の導入等と新しい教育内容が入ってくる。これらが少人数だからうまく対応できるのか、それとも現状の人数で集団としての良さを生かせるのか。
- ・ 学級集団数の差が大きくなることの子どもたちへの影響を考えていかななくてはならない。

○ アクティブクラスについて

- ・ アクティブクラスの存続について

※昨年度の検討委員会より

メリット	デメリット
<ul style="list-style-type: none"> ・ 個に応じた対応が可能。 ・ T・Tによる指導など、教科指導での効果大きい。 ・ 状況に応じて、教室の調整等対応が可能である。 ・ 単級アクティブクラスでは、1 学年に複数の学級がある学校より、担当する児童生徒数が少ない場合が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ アクティブクラスの非常勤講師は半日勤務なので、午後の指導が担任一人となる。 ・ 午後の業務（授業準備、成績処理等）は担任が行うことになる。 ・ 授業や児童理解に関する担任との打合せ時間の確保が難しい。